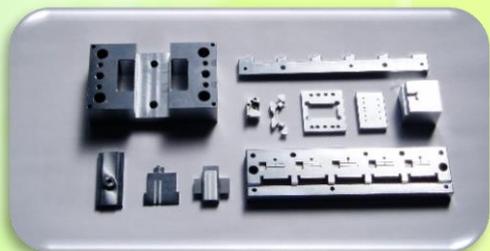




認証番号 0006871

# 環境経営レポート

## 【2018年度版】



# 第一化学工業株式会社

対象期間：2018年1月～12月

発行日：2019年3月15日

## はじめに

エコアクション21 ガイドライン 2017年版適用の初年度の取組の年となりました。

2017版では「経営における課題とチャンスの明確化」が必要になりましたが、我社では5年前に大きな取り組みを開始し、その取り組みも「経営における課題とチャンス」と思い、環境経営レポートのはじめに綴らせていただきます。

その取り組みは、【8時間の労働時間内に効率良く仕事を処理し品質向上・売上向上を目指す】当たり前の様な事が我社では出来ておりませんでした。5年前は、1部署のみ残業が多く目立っていました。仕事内容も大変な部署ではありましたが、1部署だけに残業が課せられては良くないと思い全従業員で話し合いを設けました。残業が多い部署の仕事でも他部署の人でも出来る事があり、他部署で手が空いた時は手伝う。他部署で出来る事はする。など、意見が出され実行する運びとなりました。

当初は、良かれと思い手伝った事により不良を出したり、クレームになったりと、問題も多くなかなか思うようには取り組めませんでした。色々な問題が出るたびに改善策を講じ、今では全従業員の残業時間は平均月10時間以内となりました。ちなみに、売り上げも向上しています。

時間外労働時間が削減されれば、社内の電気・水道などの環境への負荷削減にも繋がり従業員の集中力も向上し、品質向上・売上向上。まさに「経営における課題とチャンス！！」と思いました。

しかしながら、取り組みを実行してから数年が経過すると他の問題点も出てきました。従業員の中には「効率の良く=手を抜く」「めっき処理以外の清掃活動などは仕事ではない」と勘違いをしている従業員も居るように思い、次の取組として「製品不良率削減」「3R活動」など取り組む事は次から次へと・・・課題は山積みの様です。

また、「本業に関する継続的な環境改善」においては、製品不良率削減を目標に取り組んでいます。製品不良率削減は、電気使用量・化学物質使用量・廃棄物排出量の項目において削減の対象になります。更に、「課題とチャンス」においても、顧客満足度の向上・売上向上に繋がると確信しています。



## 目次

### はじめに

事業の概要	2
環境経営システムの組織図・エコアクション21組織役割	4
環境経営方針	5
環境経営目標・中長期	6
今年度の環境経営目標と実績	10
環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	18
緊急事態対応の試行・訓練、代表者による全体の評価と見直し	19
第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動	20

おわりに

## 事業の概要

### 事業所名及び代表者氏名

第一化学工業株式会社

代表取締役社長 泉 三弘

#### \*所在地・連絡先

〒115-0051

東京都北区浮間5-7-9

TEL : 03-3966-2476

FAX : 03-3966-2494

Eメール : info@daiichi-kagaku.com

#### \*環境管理責任者氏名及び担当者

【代表者】代表取締役社長：泉 三弘

【環境管理責任者】総務部部长環境管理課 加藤 せつ子

【二酸化炭素排出量削減リーダー】営業部課長 小川 裕之

【化学物質使用量削減・徹底管理リーダー】製造部めっき課課長 鎌田 治郎

【廃棄物削減リーダー】製造部研磨課係長 神戸 等

【水使用量削減リーダー】製造部検査課課長 鈴木 愛芳

【製品不良率削減リーダー】工場長 吉田 真記

【グリーン購入・環境配慮製品の使用リーダー】総務部 高野 晶

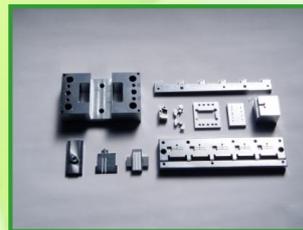


こちらは、第一化学工業(株)の社屋です。近隣や環境に配慮した工場で、よくめっき工場には思えないと言われております。

## 事業活動の内容

表面処理業（硬質クロムめっき業）

主要商品 精密機器部品・自動組立機部品・医療機器部品・充填機部品・治工具など



わが社が手掛ける製品の  
一部です。仕上  
がりに高い評価を頂  
いています。

## 事業の規模

	単 位	2016年度 (2016年1月~2016年12月)	2017年度 (2017年1月~2017年12月)	2018年度 (2018年1月~2018年12月)
主要製品の出荷額	百万円	160	140	136
従業員数	人	17	18	18
敷地面積	m <sup>2</sup>	239.04	239.04	239.04
延べ床面積	m <sup>2</sup>	267.93	356.93	356.93
作業場面積	m <sup>2</sup>	121.85	121.85	121.85

## 対象範囲

- ・組織の概要に記載した全組織・全活動・全従業員を対象に活動しています。



環境経営システム組織図  
エコアクション21 組織役割



	役割・責任・権限
代表者 泉 三弘	1.環境経営に関する統括責任者 2.効果的で必要十分な実施体制を構築する 3.代表者による全体の評価と見直しを実施 4.実施体制においては、各自の役割・責任及び権限を定め全従業員に周知する 5.環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 6.エコアクション21 取組における全責任・権限 7.エコアクション21 を運用し、維持するための経営資源を用意する
エコアクション21 事務局 環境管理責任者 加藤 せつ子	1.環境経営推進の事務局・取組における権限 2.環境経営目標・環境経営計画書・実績表の作成 3.環境関連の外部コミュニケーションの窓口 4.環境経営レポートの作成 5.全社の環境関連の掲示物等の作成・掲示 6.各リーダーへの提案・相談の窓口 7.各手順書の見直し・作成など外部提出書類の作成全般 8.環境関連書類の保管
各リーダー 小川 裕之・神戸 等 鈴木 愛芳・鎌田 治郎 吉田 真記・高野 晶	1.各担当チームのテーマ推進 2.各チームにおける環境経営システムの実施 3.環境経営目標及び環境経営計画の実施、その達成状況の報告 4.環境経営におけるチェックリストの記録・運用管理 5.各チームの問題点の発見・是正・予防処置 6.各手順書の見直し・提案
全従業員	1.環境経営方針を理解し、環境への取組の重要性を自覚 2.環境経営システムへの参加 3.環境関連全般についての提案 4.緊急事態訓練・社内講習の参加 5.外部講習・環境セミナーへの参加・報告レポート提出

# 第一化学工業株式会社 環境経営方針

## <環境経営基本理念>

第一化学工業株式会社は、地球環境保全が人類共通の最重要課題であることを認識し、企業活動を通じ全従業員で継続的に地球環境の保全に積極的に努めます。

## <基本方針>

第一化学工業株式会社は、表面処理事業（硬質クロムめっき）含め事業活動を行う中で常に環境への影響を意識し、環境経営基本理念に基づき全員参加で環境保全活動に取り組みます。

1. 製品不良率を削減し環境負荷を削減、顧客満足度の向上に努めます。  
製品不良率を削減する事で、電気使用量・化学物質使用量・廃棄物排出量を削減。更に顧客満足度の向上に結び付け、売上向上を目指します。
2. 法規制・条例・政令その他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境保全を目指し、下記の目標に基づき企業活動を行います。  
また、定期的に見直しを行います。
  - ① 製品不良率を削減し環境負荷削減、顧客満足向上に努めます。
  - ② 二酸化炭素排出量削減に努めます。
  - ③ 化学物質の徹底管理を行い環境汚染ゼロに努めます。
  - ④ 廃棄物の3R活動に努めます。
  - ⑤ 水使用量削減に努めます。
4. 環境経営方針を達成させるために全従業員の環境への認識を高め、教育訓練を実施し 地球環境の保全に取り組みます。
5. 地域・社会との協調をはかり、積極的な情報開示とコミュニケーションを行います。

制定日 2010年7月28日

改定日 2018年6月28日

第一化学工業株式会社

代表取締役社長 泉 三弘

環境経営目標（中長）

環境負荷項目 / 年度		基準年度	2018年	2019年	2020年
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年) (現場作業所)	88,313	77,715	75,066	73,300
	【電気】 2014年度基準	100%	88%	85%	83%
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年) (事務所)	1,701	1,667	1,616	1,582
	【電気】 2017年度基準	100%	98%	95%	93%
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年)	5,740	5,338	5,281	5,223
【ガソリン】 2014年度基準	100%	93%	92%	91%	
	一般廃棄物排出量(t/年) (事務系)	5.13	4,514	4,361	4,258
	2014年度基準	100%	88%	85%	83%
	産業廃棄物排出量(t/年) (金属クズ等)	0.46	0,382	0,377	0,373
	2014年度基準	100%	83%	82%	81%
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年) (廃フィルター等)	0.37	0,307	0,307	0,3
	2014年度基準	100%	85%	83%	81%
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年) (加ム酸・塩酸廃液)	15,280	12,682	12,530	12,377
	2014年度基準	100%	83%	82%	81%
	水使用量(m³/年)	1,015	812	792	771
	2014年度基準	100%	80%	78%	76%
	化学物質使用量・徹底管理(kg/年) (無水クロム酸)	425	750	→	→
	2014年度基準・実績把握・徹底管理(○・×)	○	○	→	→
	化学物質使用量・徹底管理(kg/年) (ホワイトガソリン)	297	630	→	→
	2014年度基準・実績把握・徹底管理(○・×)	○	○	→	→
	グリーン購入(品目/年)	29	41	42	44
	2014年度基準	100%	140%	145%	150%
	環境配慮製品の購入(品目/年)	18	25	26	27
	2014年度基準	100%	140%	145%	150%
	製品不良率削減(件数)	35	34	33	33
	2017年度基準	100%	98%	95%	93%

\*CO2 排出係数は、平成 27 年度(2015 年)東京電力㈱の実排出係数 0.462 kg-CO2/kwh を使用した。

環境経営目標（中長

二酸化炭素排出量(kg-CO<sub>2</sub>) 現場作業所



- \*グリーンカーテンの栽培
- \*空調機のフィルター定期清掃
- \*ドライヤーの無駄な使用厳禁
- \*照明機器の清掃
- \*作業改善・業務改善の推進
- 【中期計画】
- \*電力使用量削減に繋がる社員教育

二酸化炭素排出量(kg-CO<sub>2</sub>) 事務所



- \*空調温度の適正化(冷房 28℃・暖房 20℃)
- \*不要照明の消灯・こまめな消灯をする
- \*空調機のフィルター定期清掃
- \*照明機器の清掃
- 【中期計画】
- \*電気使用量削減に繋がる社員教育

二酸化炭素排出量(kg-CO<sub>2</sub>) ガソリン



- \*アイドリングストップ
- \*エコドライブ運転の徹底
- \*営業活動は、最短ルートを考え効率よく回る
- 【中期計画】
- \*自動車燃料削減に繋がる社員教育
- \*バンをハイブリット車に買い替える

水使用量(m<sup>3</sup>/年)



- \*再度節水シールの貼付とポスターの掲示
- \*無駄使いをしている人には声掛けをする
- \*トイレ使用时、小便は小で流す
- 【中期計画】
- \*水使用削減に繋がる社員教育

一般廃棄物(t/年)



- \*各個人が責任を持ち分別の徹底を実施
- \*コピー用紙の使用枚数の把握
- \*帳票見直しによる印刷物の削減
- \*3S 活動の徹底
- 【中期計画】
- \*一般廃棄物削減に繋がる社員教育

産業廃棄物(t/年)金属クズ等



- \*各個人が責任を持ち分別の徹底を実施
- \*保管の徹底管理
- \*マニフェストの管理
- \*3S 活動の徹底
- 【中期計画】
- \*産業廃棄物削減に繋がる社員教育

特管廃棄物(t/年)廃フィル等



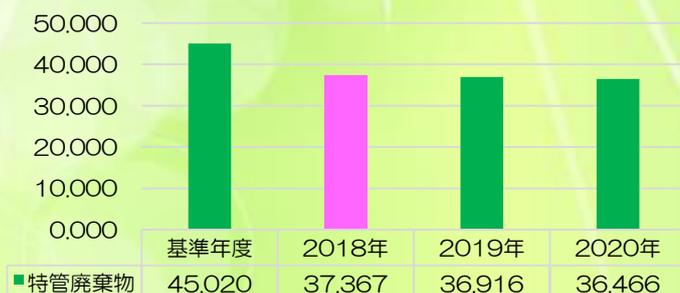
- \*各個人が責任を持ち分別の徹底を実施
- \*保管の徹底管理
- \*マニフェストの管理
- \*3S 活動の徹底
- 【中期計画】
- \*特別管理産業廃棄物削減に繋がる社員教育

特管廃棄物(t/年)加酸・塩酸廃液



- \*各個人が責任を持ち分別の徹底を実施
- \*保管の徹底管理
- \*マニフェストの管理
- \*3S 活動の徹底
- 【中期計画】
- \*特別管理産業廃棄物削減に繋がる社員教育

特管廃棄物(t/年)加加廃液



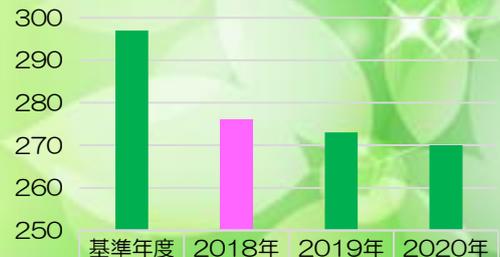
- \*各個人が責任を持ち分別の徹底を実施
- \*保管の徹底管理
- \*マニフェストの管理
- \*3S 活動の徹底
- 【中期計画】
- \*特別管理産業廃棄物削減に繋がる社員教育

化学物質使用量(kg/年)無水加硫酸



年度	化学物質使用量(kg)
基準年度	425
2018年	395
2019年	391
2020年	387

化学物質使用量(kg/年)杓付がリソ



年度	化学物質使用量(kg)
基準年度	297
2018年	276
2019年	273
2020年	270

化学物質使用量(kg/年)ディップロール



年度	化学物質使用量(kg)
基準年度	70
2018年	65
2019年	64
2020年	64

- \*個人使用量記録表の記入漏れを無くす
  - \*保管の徹底管理
  - \*SDSに基づく使用時の注意を徹底する
  - \*保管庫の整理整頓
- 【中期計画】
- \*化学物質使用時についての社員教育
  - \*化学物質使用量削減に繋がる社員教育

グリーン購入(品目/年)



年度	グリーン購入(品目)
基準年度	29
2018年	41
2019年	42
2020年	44

- \*有害性の少ない資材の購入
  - \*省エネ性能の高い電気製品の購入
  - \*事務用品グリーン購入比率向上
- 【中期計画】
- \*グリーン購入に繋がる社員教育

環境配慮製品(品目/年)



年度	環境配慮製品(品目)
基準年度	18
2018年	25
2019年	26
2020年	27

- \*有害性の少ない資材の購入
  - \*省エネ性能の高い電気製品の購入
  - \*事務用品グリーン購入比率向上
- 【中期計画】
- \*環境配慮製品購入に繋がる社員教育

製品不良率(件/年)



年度	製品不良率(件)
基準年度	35
2018年	34
2019年	33
2020年	33

- \*製品不良発生時の報告の徹底
  - \*顧客へのフォローや報告の徹底
  - \*作業ミス改善方法の相談
- 【中期計画】
- \*製品不良率削減に繋がる社員教育

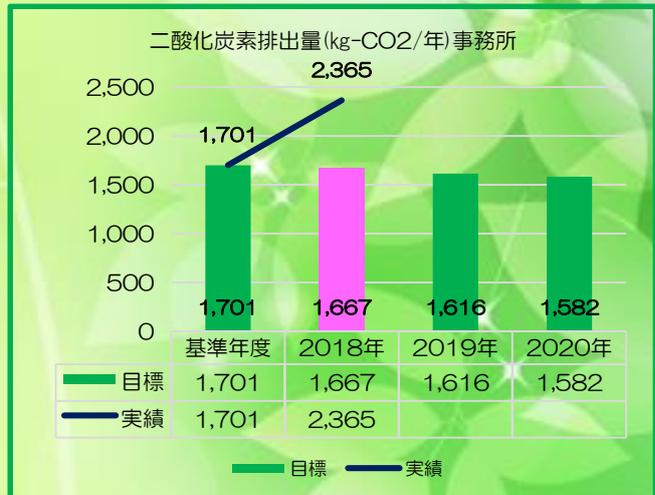
## 今年度の環境経営目標と実績

環境負荷項目／年度		基準年度	目標	実績	達成状況
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)電気	88,313	77,715	97,299	
	【現場作業所】2014年度基準(%)	100%	88%	110%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2)電気	1,701	1,667	2,365	
	【事務所】2017年度基準(%)	100%	98%	139%	
	二酸化炭素排出量(kg-CO2年)ガリソ	5,740	5,338	3,700	
2014年度基準(%)	100%	93%	64%		
	一般廃棄物排出量(t/年)	5.130	4.514	4.725	
	2014年度基準(%)	100%	88%	92%	
	産業廃棄物排出量(t/年)	0.460	0.382	0.230	
	2014年度基準(%)	100%	83%	50%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	0.370	0.307	0.180	
	【廃フィルター等】2014年度基準(%)	100%	85%	49%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	15,280	12,682	21,130	
	【硝酸・塩酸廃液】2014年度基準(%)	100%	83%	138%	
	特別管理産業廃棄物排出量(t/年)	45,020	37,367	70,040	
【アルカリ廃液】2014年度基準(%)	100%	83%	156%		
	水使用量(m <sup>3</sup> /年)	1,015	812	676	
	2014年度基準(%)	100%	80%	67%	
	化学物質使用量(kg/年)	425	395	750	
	【無水加酸】2014年度基準(%)	100%	93%	176%	
	化学物質使用量(kg/年)	297	276	630	
	【初付ガリソ】2014年度基準(%)	100%	93%	212%	
	化学物質使用量(kg/年)	70	65	60	
【デソアソル】2014年基準(%)	100%	93%	86%		
	グリーン購入(品目/年)	29	41	45	
	2014年度基準(%)	100%	140%	155%	
	環境配慮製品の購入(品目/年)	18	25	45	
	2014年度基準(%)	100%	140%	155%	
	製品不良率削減(件数)	35	34	22	
	2017年度基準(件)	100%	98%	63%	

\*CO2 排出係数は、平成 27 年度(2015 年)東京電力㈱の実排出係数 0.462 kg-CO2/kwh を使用しました。



## 二酸化炭素排出量（電気）



\*CO2 排出係数は、平成 27 年度（2015 年）東京電力㈱の実排出係数 0.462 kg-CO2/kwh を使用した。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量の削減(電気)</b>			
作業改善・業務改善の推進	△	多少実行出来たが、まだ改善の余地有	全取組を継続して実行する。なお、次年度は、不良率削減の為の作業改善や、それに繋がる社員の意識向上に力を入れ取り組みを実行して二酸化炭素排出量削減に努める。
空調機等のフィルターの定期清掃	◎	清掃月を指示し実行できた	
ドライヤーの無駄な使用はしない	◎	無駄使いをする人を見なくなった	
グリーンカーテンの実施	◎	5月からは実行出来た	
削減に繋がる社員の意識向上	×	意識向上までは実行出来ていない	

◎・・・実行できた      △・・・ほぼ実行できた      ×・・・実行出来なかった

節電ステッカー

コンセントタイマーをや必要な箇所に設置

トイレは、低温・便座の蓋は閉める！！



デマンドコントローラ

現場作業所の電灯全てプルスイッチ

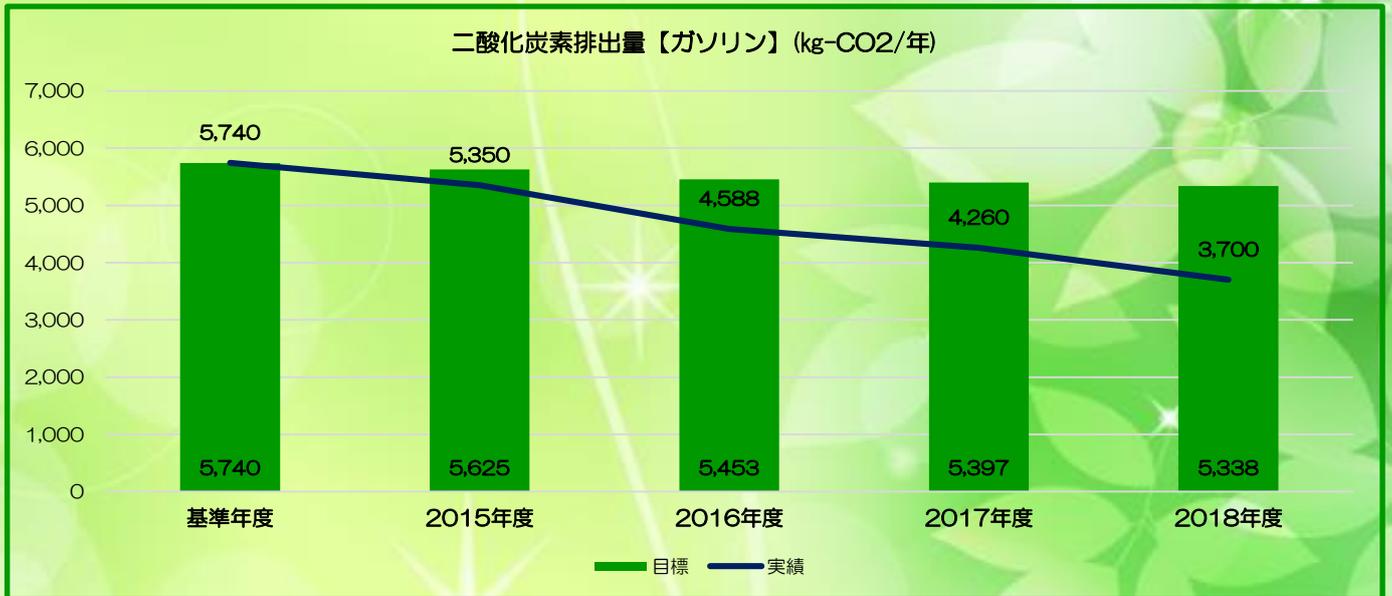
グリーンカーテンの栽培

外観と社内より





## 二酸化炭素排出量（ガソリン）



\*排出係数は、2,321 kg-CO<sub>2</sub> を使用した。

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>二酸化炭素排出量の削減(ガソリン)</b>			
アイドリングストップ	◎	実行できた	全取組を継続して実行する。 なお、次年度は社用車のバンをハイブリット車へ変更する。
営業活動は最短ルートで効率よく回る	◎	実行できた	
エコドライブ運転の徹底	◎	実行できた	
自動車燃料削減に繋がる社員意識向上	◎	実行できた	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

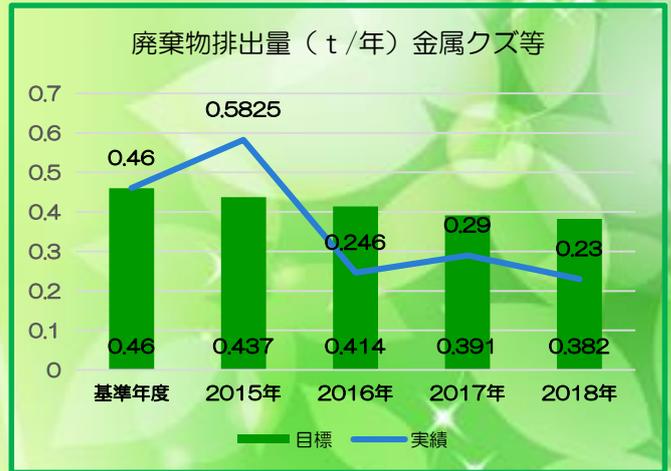
×・・・実行出来なかった



2012年5月に購入  
2019年度に買い換え予定。  
ちなみに、ナンバーは・・・  
電話番号の下4ケタ



# 廃棄物排出量



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>一般・産業廃棄物排出量の削減</b>			
各個人が責任を持って分別の徹底	△	まだ出来ない人を見受ける	全取組を継続して実行する。なお、週 1 回のゴミ出しを徹底する。なお、次年度は、3S 活動に重点を置き社員の意識向上を図る取り組みを実践し廃棄物削減を実行する。
マニフェストに基づいた徹底管理	◎	確実に実行できた	
保管の徹底管理	◎	確実に実行できた	
3S 活動の徹底	△	実行出来ていなのが見受けられる	
コピー用紙の使用枚数の把握	×	実行出来ていない	
帳票見直しによる印刷物の削減	△	意識して取り組んだが徹底出来ていない	
廃棄物削減に繋がる社員の意識向上	×	全社員の意識向上までは教育出来ず	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

コピー用紙は両面使用後にシュレッターし梱包材として再利用しています



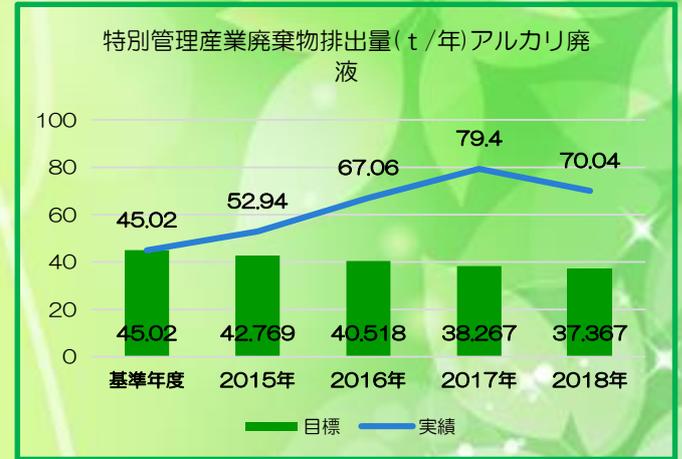
ペットボトルのキャップ入  
エコキャップ運動実施！



使用しなくなった棚を再利用して  
ゴミ置き場に設置！！  
小スペースに収まりました



# 特別管理産業廃棄物



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>特別管理産業廃棄物排出量の削減</b>			
マニフェストの管理	◎	確実に実行できた	全取組を継続して実行する。なお、昨年アルカリ槽を3槽増設後に廃棄量が増加し作業改善を実行し前年を下回る事が出来たが、まだまだ意識の向上が課題だ。次年度は、3S活動マニュアルを作成し意識向上を図り削減に取り組む。
各個人が責任を持ち分別の徹底	◎	確実に実行できた	
保管時の徹底管理	◎	確実に実行できた	
3S活動の徹底	△	ほぼ実行出来たがあと一歩	
削減に繋がる作業改善・意識向上	△	まだまだ作業改善が課題	
最終処分場の現地視察の実施	◎	実行できた	

◎・・・実行できた      △・・・ほぼ実行できた      ×・・・実行出来なかった

化学物質が付着した廃棄物は分別し管理を徹底した



今年も中間処分場・最終処分場の現地視察に行きました！  
2018年10月18日イコールゼロ&日曹金属





## 水使用量



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>水使用量の削減</b>			
再度節水シールの貼付とポスター掲示	◎	実行した	全取組を継続して実行する。次年度も今季同様削減に取り組み更なる削減を目指す取り組みを実行する。意識向上の社員教育に邁進する。
トイレ使用时、小便は小で流す	△	実行していない人が居る	
無駄遣いしている人へ注意する	◎	無駄使いする人を見掛けなくなった	
節水に繋がる意識向上の社員教育	△	まだまだ全社員は意識向上していない	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

社内全ての蛇口に「節水」ステッカーを貼って「節水」を実行！！



今では当たり前となった「すぎ1回」の洗濯洗剤。作業服は、各個人でなく纏めて洗濯しています

トイレ使用时、「小便は小で流しましょう」ステッカー！！



余談ではありますが、男性の多くはトイレ使用後に、小便・大便で水の流し方を変えていない人が大多数です。トイレ使用後に「小」で流しているなら節水に繋がりますが、小便・大便ともに「大」で流しているそうです。小便時は、「小」で流す事を徹底すれば節水できますよ。



3週間程度のサイクルでワコンナーの樹脂を再生工場にて再生しています

現場作業所内で使用する水は、上記のイオン交換樹脂塔で有害物質を完全に除去し純水に変え現場作業所に循環させ再利用！現場作業所内の排水ゼロ(クローズドシステム採用)を実現



## 環境配慮製品の購入

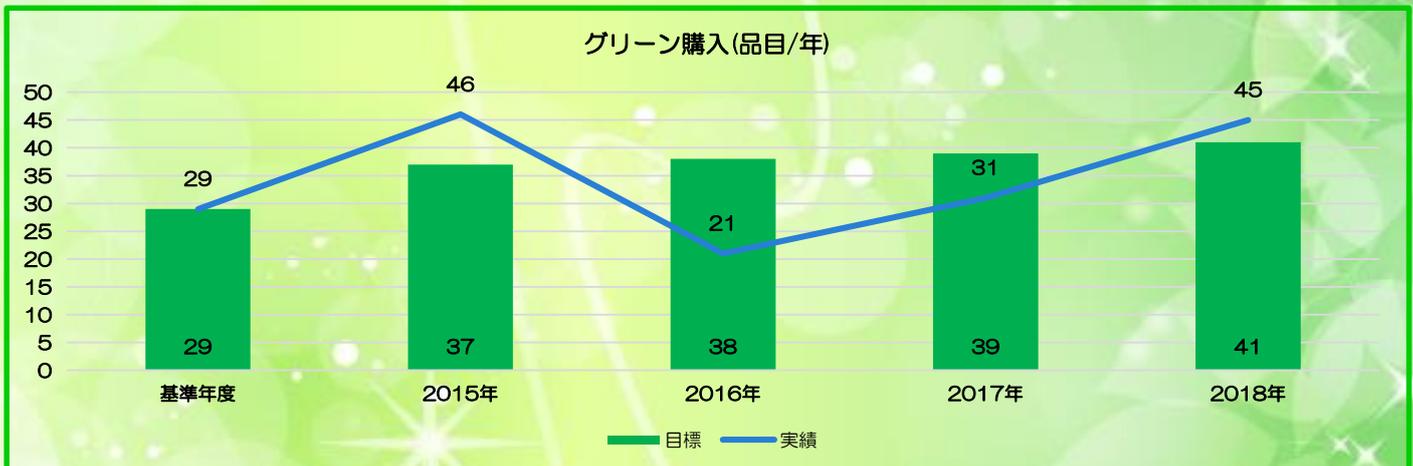


環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>環境配慮製品の購入</b>			
有害性の少ない資材の購入	◎	意識して購入した	全取組を継続して実行する。購入する製品を検討し引き続き増加に努める。
省エネ性能の高い電気製品の購入	◎	都度確認し購入した	
事務用品グリーン購入比率向上	◎	カタログを使用しEマーク品購入	

◎・・・実行できた      △・・・ほぼ実行できた      ×・・・実行出来なかった



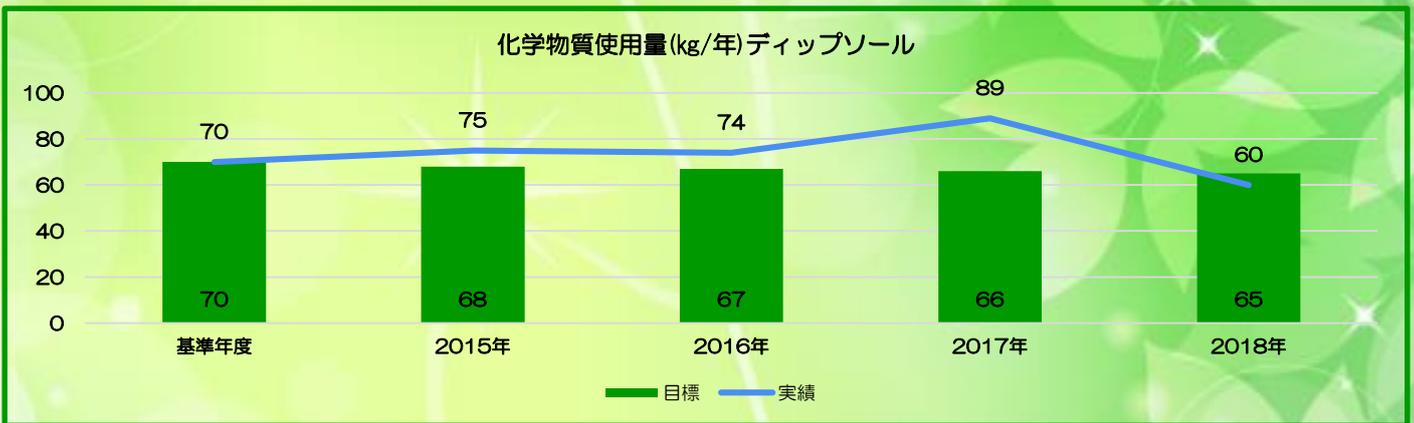
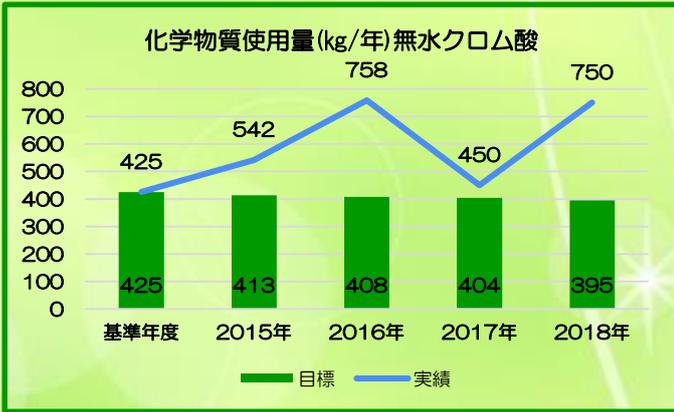
## グリーン購入



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>グリーン購入</b>			
グリーン購入の推進	◎	実行できた	今年度は購入数量が増加した。
事務用品の新商品等エコで購入	◎	実行できた	
年間 45 品目購入	◎	実行できた	

◎・・・実行できた      △・・・ほぼ実行できた      ×・・・実行出来なかった


**化学物質使用量**

環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>化学物質使用量の削減</b>			
個人の使用量の記入漏れをなくす	◎	記入漏れする社員が居なくなった	全取組を継続して実行する。取扱い・保管の徹底。 次年度は、有機溶剤を含む取扱いや注意事項の教育を含め、環境に関連付けての社員教育への取組を実行する。
保管の徹底管理	◎	施錠等含め確実に保管できた	
SDSに基づく使用時の注意の徹底	◎	実行できた	
保管庫の整理整頓	◎	実行できた	
使用に関しての社員教育	△	使用する社員全員の徹底までには至らず	

◎・・・実行できた      △・・・ほぼ実行できた      ×・・・実行出来なかった

薬品庫の鍵は徹底管理しています

転倒防止

表示板・使用と管理の徹底





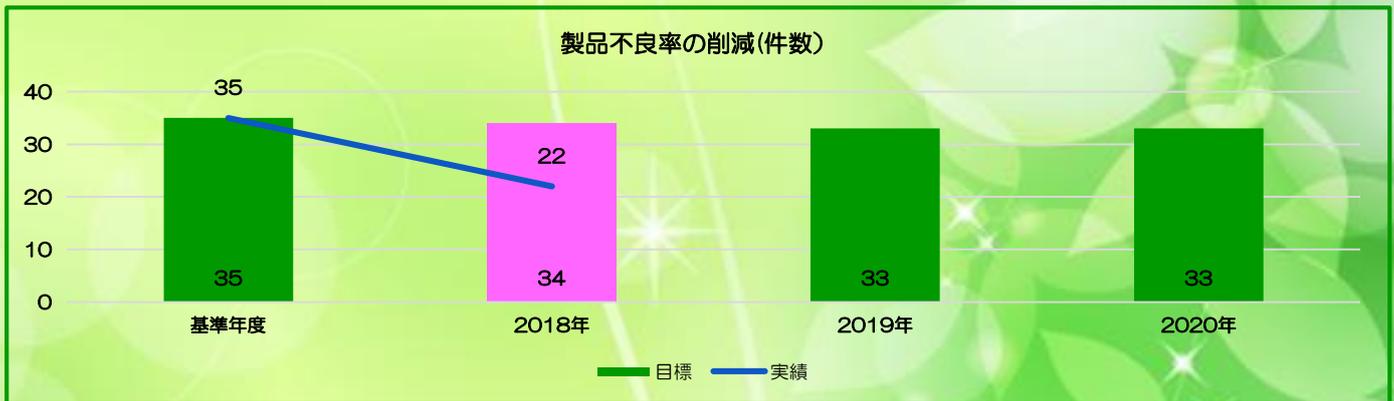



各個人別に化学物質使用量報告書を記入し  
責任者が毎日集計。月末に棚卸を実施





## 本業に関わる継続的な環境改善（製品不良率の削減）



環境経営活動計画	結果	取組の評価	次年度の取組内容
<b>本業に関わる継続的な環境改善（製品の不良率削減）</b>			
製品不良発生時の報告に徹底	△	多少削減は出来ているが修正はある	全取組を継続して実行する。製品不良率削減が我が社にとって最大の「課題とチャンス」と捉え社内改革を意識して社員の意識向上の教育を実行する。
顧客へのフォローや報告に徹底	◎	確実に実行できた	
作業ミス改善方法の相談	△	個人間での相談はあるが全体としては無	
製品不良発生に関し相談会・社員教育	×	意識向上が最大の課題である	

◎・・・実行できた

△・・・ほぼ実行できた

×・・・実行出来なかった

### 環境関連法規等の遵守状況の確認・評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される主な環境関連法規は下記の通りで、これらへの違反はありませんでした。

なお、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

適用環境関連法規等	適用される事項 (事業活動・施設・物質など)	遵守状況の確認・評価
北区廃棄物条例	事業系一般廃棄物	事業系廃棄物シール使用
廃棄物処理法	多量排出事業者	報告書提出・マニフェスト管理
毒物及び劇物取扱法	無水クロム酸など	届出確認・表示板設置
東京都環境確保条例	工場認可・表示板設置	現況届提出・表示板等確認
東京都環境確保条例	化学物質適正管理	届出提出
下水道法	ワコンナーなど	設置届・変更届など提出
水質汚濁防止法	有害物質使用特定施設	届出提出
土壌汚染対策法	電気めっき施設	申請書提出

## 緊急事態対応の試行・訓練

実施日 2018年12月14日  
火災を想定した訓練を実施しました。なお、消火器置き場の再確認・火災報知機の設置もおこないました。



## 代表者による全体の評価と見直し

項目	評価	見直し
 二酸化炭素排出量	大幅に増加した。	設備の増設や事務所の新設に伴い増加 次年度の目標を検討する。
 廃棄物排出量	一般廃棄物が増加した。 産業廃棄物は、削減出来た。	全従業員の意識向上の為の社員教育を 実行し更なる削減に取り組む。
 特別管理産業廃棄物排出量	アルカリ廃液は目標達成しなかったが前年度より削減できた。70L・塩酸廃液は増加した。	更なる社員教育と目標値の検討。
 水使用量	削減した。	引き続き取組を実行する。
 化学物質使用量	徹底管理に重点をおきながら、削減していきたい。売上向上すると、やはり増加傾向。	環境負荷・社員への健康被害について 社員教育を実行し意識向上を実行する
 グリーン購入	増加。	
 環境配慮製品の購入	購入数大幅に増加した。	引き続き取り組みを実行する。
 製品不良率削減	削減した。	意識改革に向けて社員教育を実行し 不良率ゼロに向け取り組む。

二酸化炭素排出量、アルカリ廃液排出量とも増加した要因として、アルカリ槽(脱脂槽)を新たに3槽増設した結果と思われる。アルカリ槽には温度を一定に保つ為に温調(ヒーター)が入っており電気使用量の検証を行った際には日中の作業に掛かる電気使用量と作業時間以外に掛る電気使用量(ヒーター)の比率が同じだった。アルカリ槽を3槽増設した事でアルカリ廃液排出量も勿論増加する。次年度は、基準年度を改めて設定・見直しを行い削減に取り組む事が重要だ。なお、「課題とチャンス」の取組項目を増やし製品不良率削減と時間外労働時間削減に取り組む方針だ。売上を向上し8時間の労働時間の中で効率よく顧客満足度の製品処理を目指す。売上が向上し顧客満足度も向上すれば次の仕事に結び付き、時間外労働が削減出来れば社員に還元したり設備投資に予算が使える、品質の良い製品処理に繋げる事が出来ると確信している。次年度は、これらの取組事項を追加し更なる環境経営に取り組む。また、環境負荷削減への取組も一層邁進し未来の子供たちにより良い環境を残す企業を目指します。

第一化学工業株式会社の主な取り組み・環境経営活動



【社屋の上にスクラバー設置！！】

工場内の有害ガスを排風機で屋上へ吸い上げ、**排ガス洗浄装置**で取り除き無害・無臭のきれいな状態にして大気に放出しています。  
半年に1度の頻度で洗浄・廃液を行います。

下記は、スクラバーの洗浄風景。

屋上からの廃液を回収風景



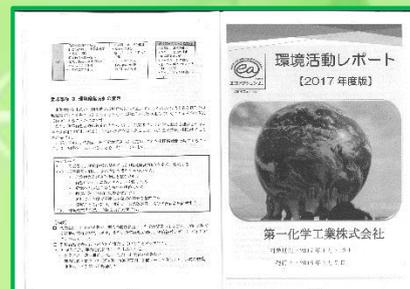
2018年9月6日 環境省主催のセミナーに登壇



2018年9月6日(木) 新橋で行われた、エコアクション21セミナー「環境経営で企業を発展させる」において【わが社におけるエコアクション21の取組】と題して事例発表をさせていただきました。講演者、事例発表事業者と共にパネルディスカッションにも参加し、意見交換もさせていただきました。

2017年度 環境活動レポート掲載

第13回エコアクション21全国交流研修会 in 東京が、2018年10月12・13日の両日ベルサール神田で行われ、その際に使用するテキストに我社の環境活動レポートを掲載されました。



平成 27 年度「北区きらりと光るものづくり顕彰」きらめきの技人部門受賞

区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」の素晴らしさを広く内外に PR するところを目的とした【北区きらりと光るものづくり顕彰】にて、きらめきの技人部門の受賞をしました。



「北区きらりと光るものづくり顕彰」授賞式

日時：平成 28 年 2 月 10 日

場所：北とびあ

東京都北区長の花川與惣太氏より授賞企業・受賞者へ授与が執り行われ、授賞式の後、懇親会が開かれ授賞企業との親交も深まりました。



日刊工業新聞に掲載されました。



第一化学工業株式会社 北区商工通信「新しい風」



北区商工通信「新しい風」に掲載していただきました  
左側は、No.83  
右側は、No.100

## 第一化学工業株式会社に「サラメシ」が来た！！！！

中井貴一さんの軽妙なナレーションで人気がある「サラメシ」の取材を受け放送は、2017年2月28日（火）NHK 総合 午後8時15分より全国放送された。

【働くおとなの昼ごはん】と題して全国津々浦々で働く様々な職業の人の昼ご飯を取り上げ、それに関わるエピソードを紹介する番組で、映像とナレーションでめっきについてとても分かり易く説明している。55年間第一化学工業(株)で働き仕上げをチェックするめっき一筋の常務には冬に欠かせない作業がある。それは、白菜漬けを作る事で、もともとは今は亡き堀内さん（検品を担当していた女性）が、働くみんなの為に作ったもので、昼時「何か足りないね」という皆の声を耳にし、堀内さんの作り方を見ながら覚えていた常務が作る事になった。白菜を割り塩をすり込み昆布と唐辛子、柚子を入れ3日間ベランダで寝かせる。

野菜・豚肉たっぷりの豚汁も常務が作る。週1度の割合で温かい豚汁と白菜漬けがテーブルに並び、各自が用意したお昼ご飯と一緒に食べれば、お腹も心も満ち足りて午後からの作業がはかどりそうだ。

上記に書いたような内容で放送され、得意先・ご近所・各方面より沢山の反響があり、テレビの影響力のすごさにビックリしました。



## 第 55 回全国鍍金工業組合連合会 全国中小企業団体中央会長賞 受賞

第 55 回全国鍍金工業組合連合会にて、

全国中小企業団体中央会長賞 硬質クロムめっき部門を受賞いたしました。



### おわりに

自利とは利他という。これは禅の教えです。自分が良くなりたと思うならば、先ず他人や、そして広く社会に尽くしなさいということを教えています。社会が良くなることが、巡り巡ってその社会で生きている自分自身が良くなることを意味しています。当社では、この自利利他を社是としています。

当社は、硬質クロムめっきの工場を運営していますが、めっき工場は生産工程で有害物質を排出せざるを得ません。よく他の会社で行われているように産業廃棄物を再利用して、社会に直接役立てるようなことはしたくても出来ません。しかし、当社では大気中に排出されるクロム酸ミスト等をスクラバー（排ガス処理装置）でシャワー洗浄し綺麗な状態にして大気に排出したり、工場内で使用する水はワコンナー（イオン交換樹脂塔）で有害物質を除去し純水に戻し巡回させることにより工場内排水クローズドシステムを行っています。エコ活動は、社員一人ひとりが自利利他という社是に向かって歩いていく道のりと同じなのです。

当社の活動は、微力ですが、全ての事業所が出来る事から取組みを実行したら、それは、大きな環境保全につながると考えます。



ご覧いただき、ありがとうございました。

次年度も、色々な事に挑戦し環境・皆様に少しでも  
貢献できる企業を目指し活動していきます。

また、お会い致しましょう。